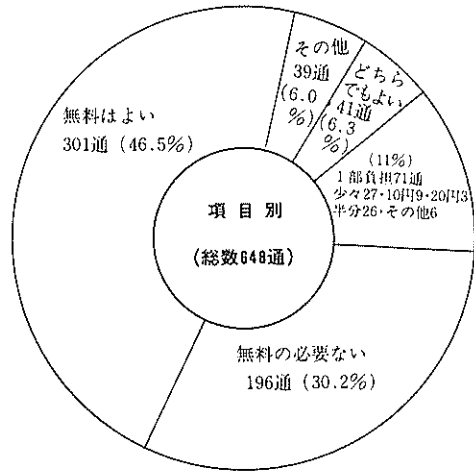


# ゴミ袋無料化のアンケート

## ●市長への手紙



項目別グラフ 50年1月25日現在  
※一部負担は、各項目のなかで「一部負担」の表示のあったものをとりまとめたものです。

「よい」五〇に対して、「よいことだ」四六と逆転しているのは、「よいことだ」の多いのは三〇歳代三九対六、四十歳代四七対二八、六十歳代五六対三六と圧倒的によいと答えています。

職業別では、農業が五六対六〇で、わずかながら「必要ない」が多くあり、やはり自家処理ができたり、肥料袋、セメント袋などが手ごろにあるので、無料化はやめて、そうした空袋を使うようにしては——という意見つきものが目立っていました。

その反面、自家処理の比較的

でない勤め人では、七〇対三五と圧倒。また、お年寄りや無職の人も四九対三三、主婦二二対六と、よ

次に、市民の意見をみてみますと、まず、「無料はよいことだ」と答えた人たちは——。

▼川が非常にきれいになった。ここで有料になると、また川が汚くなるので、無料を続けてほしい。

### 賛成 きめ細かい行政の表れ 自分のは自分で始末

い「ことだ」が大変多くなっています。

▼きめ細かい各家庭に直結する行政の表れ、市と家庭生活をつなぐパイプだ。環境浄化を粘り強く進めてほしい。

▼無料の趣旨を考え、川や町をきれいにする気持、習慣を市民一人ひとりが十分持つようになれば、というものが、賛成する人たちの大方の意見でした。

一方、「無料にする必要はない」と答えた人たちは——。

▼市民の出すゴミは、市民の責任で処理するが当然。タダにすればもたらなければ損ということになり税金のムダ使用だ。

▼農家では自家処理できる。無料でもらう人ともらわない人ができると不公平だ。

▼するものに金をかけるのは、すっきりしない。他の事業に使うべきだ。——というが、無料化を歓迎しない意見でした。

次に、一部負担を提言した人たちは、かなり具体的な方法や考え方を示しています。

### ゴミ袋アンケート集計表

項目別	地区別等																			性別		20歳未満	20歳以上
	上倉	瓶岩	久礼田	岡豊	国府	長岡	岩村	野田	後免	大和	三和	日章	前浜	桶生	十市	不明	男	女					
①無料配付はよいことだ	3	4	19	16	9	29	4	10	9	45	23	37	14	14	17	48	162	88	51	1	17		
②無料にする必要はない	7	2	7	11	7	24	4	4	4	21	19	19	11	6	10	40	103	51	42		8		
③一部負担	少々	1		1		1	7				3	2	2	2		1	7	13	7	7	1	3	
	10円				1	1					2	1	1				2	6	1	2			
	20円																						
	半額	1	1	1		1	5				7	1	3	1		2	3	15	8	3			
その他				2							1					2	4		2		1		
一部負担計	2	1	5	1	2	13	1	1	1	12	5	6	3	1	3	15	38	18	15	1	4		
④どちらでもよい	1		2	4	2	5	2			6	1	5	2	1	3	7	17	16	8		1		
⑤その他	1		1	5	3	6	1	1	1	3	1	2	1	1	4	8	15	16	8				
計	14	7	34	37	23	76	12	16	15	87	49	69	31	23	37	118	335	189	129	2	30		

# 648人の市民から回答や意見

## 無料はよい46・5割

## 無料の必要ない30・2割

全国で初めてのゴミ袋無料化に取りくんで一年——。市民の反響もいろいろ。六百四十八人の人たちの貴重なアンケートと意見、提言が寄せられた。

手紙の内容は、市民の生の声が綴られ、短くまとめるのも苦労の種

しかし、この特集が市民みんなのものとして、「ゴミ戦争」を考え「市民ぐるみのクリーン作戦」に発展すれば、「幸」である。

### 最高は大篠八七通

市長への手紙は、一月二十五日現在で六八八通。このうち、ゴミ袋の無料化についてのアンケートに回答のあったものが六四八通ありました。

これを地区別にみえますと大篠八七、長岡七六、日章六九、三和四九の順。少なかったのは瓶岩七、岩村一二、上倉一四となつています。これは地区別の人口差があり、大体それに比例した数字といえます。また、無名など地区のわからないものが一一八通。これは、要求、要望などの意見が

なく、アンケートだけに回答があったものが四四通ありました。

項目別では「無料はよいことだ」「無料の必要はない」という設問に問題があったかと思いますが、いずれかにはっきり区分できないとまどいもあつたようです。

このため「よい」「必要ない」「その他」に〇印のあつたもののうち、「一部負担にしてはどうか」と書かれてあつたものを別に抜き出して見ました。

それにより見ると、無料はよいことだ三〇一（四六・五割）、無料の必要はない一九六（三〇・二割）、一部負担七一（一一・〇割）の内訳は、少々負担二七、十円負担九、二十円負担三、半額負担二六

その他六になつています。また、どちらでもよい四二（六・三割）その他三九（六・〇割）というところで、無料化に賛成というのは半数にたりなく、意外に人気がないといえそうです。

地区別の賛否をみますと、「無料にする必要はない」が上廻つていますのは上倉の三対七、「山間部のため、自家処理ができるので、その金を別に使ってほしい」というのが大方の意見だつたようです。

一方、「無料化はよいことだ」の多かったものは、大篠四五対二一と圧倒的に多く、次いで日章三七対一九、久礼田一九対七。また賛否の接近していますのは、岩村四対四で同数、国府は九対七、長岡二九対二四といったところ。市街地の後免では、回答のあつたものは一三通と少なかったが、「よいことだ」九、「必要ない」四ということでした。

年齢別では、五十歳代が「必要

### 50年1月25日現在

年	令										職										計		
	30	40	50	60	70	80	不明	農業	商業	製造業	勤労者	主婦	無職	その他	不明	農業	商業	製造業	勤労者	主婦		無職	その他
30	40	50	60	70	80	不明	農業	商業	製造業	勤労者	主婦	無職	その他	不明	農業	商業	製造業	勤労者	主婦	無職	その他	不明	計
39	47	46	56	26	4	65	56	11	1	70	21	49	19	74	301								
6	28	50	36	15	4	49	60	8		35	6	23	10	54	196								
2	2	7	1	3		8	9	1		6	2		1	8	27								
	1		5			3	2	1		1		2		3	9								
	1			1		1	1			1		1		1	3								
1	4	6	3	8		4	7	1		5	3	3	2	5	26								
		1	2			2	1			1		1		3	6								
3	8	14	11	12		18	19	4		13	5	6	4	20	71								
	8	5	8	8	2	9	14			6		8	3	10	41								
6	4	5	7	5	1	11	10	2		8		4	3	12	39								
54	95	120	118	66	11	152	159	25	1	132	32	90	39	170	648								



